

▲▽▲▽御船印めぐりの旅 ▲▽▲▽ 南海フェリー株式会社

「フェリーかつらぎ」に乗船 和歌山～湯浅～白浜町を歩く

紀伊水道を横断し和歌山港と徳島港を2隻のフェリーで結ぶ南海フェリー株式会社。「フェリーかつらぎ」に乗船し、和歌山港に向かい和歌山の名勝巡りにトライ。徳川御三家として有名な和歌山城をはじめ、醤油発祥の地で知られる湯浅。円月島や三段壁のほか白く美しい砂浜で知られる南紀白浜など、知る人ぞ知る隠れた名勝の多い和歌山を歩いてみた

■徳川御三家の和歌山城

和歌山市内の中心地に、シンボルともいえる和歌山城がそびえ立つ。和歌山城は、1585年に紀州を平定した豊臣秀吉が弟の秀長に築城させたのが始まり。築城の名人、藤堂高虎が築城を担当し、1600年には関ヶ原の戦いで功をたてた浅野幸長が入城、1619年に徳川家康の第10男・頼宣が入城し、以来、水戸・尾張と並び、徳川御三家のひとつとして長い歴史を刻んだ。

緑茂る虎伏山には白亜の天守閣がそびえ、御三家の威容にふさわしい風格を醸し出している。

■醤油発祥のまち＝湯浅

湯浅町は平安時代末期頃から熊野参詣における宿所の役割を果たすなど、陸運・海運の要衝であり、商工業や漁業で栄えてきた町。中でも鎌倉時代に中国から伝わった金山寺味噌の製造過程から生まれたといわれる醤油の醸造は、江戸時代に入ると紀州藩の保護を受けて販路が拡張され、湯浅の代表的な産業として発展した。

■海の景観あふれる白浜

南紀白浜には美しい海の景観があふれている。円月島は夕方が特に美しく「日本の夕陽百選」に選定されている。

他にも白浜には白良浜や三段壁、千畳敷など、美しく、ユニークな景色が多い。

◇◇◇◇◇◇ 一般社団法人日本旅客船協会の公認事業「御船印めぐりプロジェクト」 ◇◇◇◇◇◇
参加会社の船や航路ごとに発行するさまざまな御船印を集めることができる。

御船印とは、神社仏閣めぐりで集められる御朱印の船バージョンで、日本各地の船をめぐる船旅の楽しみをさらに盛り上げるため、プロジェクトに参加する船会社のオリジナルの御船印帳・御船印紙を購入し、旅客船、観光船などに乗船した際、船旅の思い出を彩る記念の押印（スタンプ）をいただくもの

「海員だより」